

伊丹ルーテル教会 復活節第四主日礼拝

2021年4月25日

前奏：

聖名による挨拶

牧師：父と御子と聖霊の御名によって。アーメン。

会衆：アーメン。

牧師：主よ、わたしのくちびるを開いて下さい。

会衆：そうすれば、私の口はあなたのほまれを告げるでしょう。

一同：父と御子と聖霊の神に、栄光が、初めにそうであったように、
今も、そしてとこしえまでもありますように。アーメン。

招きのことば：詩編 23 編より

【賛歌。ダビデの詩。】主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに伴い 魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。…

命のある限り 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り 生涯、そこにとどまるであろう。

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆：私たちは生まれつき 自分中心 わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。
思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に
罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。
私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストに
よって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙祷を持ちましょう）

牧師：何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子 イエス・
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言
します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して
行きなさい。アーメン。

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、
陰府(よみ)にくんだり、三日目によみがえり、天にのぼり、
父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。**アーメン**。

祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたはこまっている人に目をとめて助けてくださいます。ちょうど羊をかつている羊飼いが
自分の羊をたいせつにして、飲み物や食べ物を与え、迷ったときには探し出すようにです。

新型コロナウイルスの感染拡大によって今多くの方々が苦しみの中におられます。私たちも毎
日こわくなります。緊張します。どうぞ、助けてください。

病気の人のお世話をしたり、生きていくために必要なものを整えて働いてくださる方々が苦勞
しています。お支えください。

今週からビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。この
ために力になってくださった方々を祝福してください。

私たちはよみがえられた主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

このお祈りを、イエス様の御名によっておささげいたします。**アーメン**。

使徒書：ヨハネの第一の手紙 3:15-18

兄弟を憎む者は皆、人殺しです。あなたがたの知っているとおおり、すべて人殺しには永遠の命
がとどまっていません。イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのこ
とによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべ
きです。世の富を持ちながら、兄弟が必要な物に事欠くのを見て同情しない者があれば、どう
して神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。子たちよ、言葉や口先だけではなく、行
いをもって誠実に愛し合おう。

福音書：ヨハネによる福音書 10:11-16

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。羊飼いでなく、自分の羊を
持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、ま
た追い散らす。——彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。わたしは良い羊
飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたし
を知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。わ
たしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かねければならない。その
羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

説教「わたしはよい羊飼いである」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

今朝の礼拝は、復活節第四主日の礼拝です。私たちは、イエス様が十字架にかかって私たちの罪を赦してくださり、よみがえって私たちに新しいいのちをあたえてくださると信じています。今朝も復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

羊飼いは野原で羊を飼っています。羊を飼っている、といっても小屋や檻に入れて食事を与えるような飼い方ではないのです。羊を連れて何日も野原を歩き回ります。草のあるところ、飲み水のあるところに羊の大群を導きます。野宿をします。狼が来たら戦って追い払います。これは羊の持ち主であるよい羊飼いのすることです。

しかし、羊の持ち主に雇われてた羊飼いいました。羊のお世話をして、羊の群れを導いて野原を歩き回るところは同じですが、狼が来たら羊をおいたまま自分だけ安全なところに逃げてしまいます。雇われた羊飼いだから羊のために自分のいのちが危険なことはしません。それで、羊は狼の餌食になってしまいます。

でも、イエス様はよい羊飼いとして、私たち羊のことを大切に思って、必要なら自分のいのちをかけて、命がけで羊を守るとおっしゃいます。けれども、自分のかっている羊が大切だから、と言って、羊が狼に襲われそうになったら自分の命をかけて戦って羊を守り、決して羊を見捨てないとおっしゃるのですが、いくらなんでも本当にそんなことがあるのだろうか、と疑いたくなるくらいですね。

イエス様は「わたしはよい羊飼いです」と言われました。そして、よい羊飼いであるイエス様は、羊である私たちのためにいのちを捨てる、とおっしゃいました。ほんとうにこんな羊飼いがいてくれると安心です。狼を恐れなくて、水をゆっくりのんで、草をゆっくり食べることができます。寝転んだり、遊んだりできます。飼い主の羊飼いの恵みによって羊の暮らしはとても平安です。

私たちは毎日、いろいろな人のお世話になって生きています。家族も、先生も、仕事で出会う人も、私たちのお世話をしてくれます。それは神様が私たちのために出会わせてくださった方々です。私たちはいろんなことを教えてもらいます。たくさん助けてもらいます。よく相談のってくれる人はいます。私たちは毎日とてもたくさんの人に助けてもらって生きています。神様にもっと感謝していきたいですね。もっとお世話になる方々を尊敬していきたいですね。

そして、イエス様はその方々以上に、私たちのことを真剣に愛して、守り導いてくださるとおっしゃいました。特にいろいろな危険やわざわざいから守ってくださいます。なぜでしょうか。それはイエス様が私たちを悪いものの力から助け出して、ご自分のものとしてくださったからです。人は何かを恐れ、何かを愛し、何かに信頼して生きてますね。自分が失敗して人々の前で恥ずかしい思いをすることを恐れます。夢がかなったらどんなにいいだろうと自分の思い通りの心の願いが叶うことを大切にします。確かなものがないこの世界で、自分のお金や知恵や経験、頼りになりそうな人や考え方に信頼したり、まことしやかな権威者のことばに自分の将来を託したりします。それらすべてがイエス様がおっしゃる雇い人の羊飼いです。それらは恐れなくていい、愛してはいけない、信用できないことです。でも、知らず知らずのうちに、私たちはそこから離れられなくなっています。そして、心細くなっておちこんだり、絶望したりします。また、自分の思い通りにならないので裏切られたと思って不機嫌になったり、怒ったりします。

イエス様は襲ってくる狼のようなすべての悪からご自分のいのちをあたえて、私たちをそこから助けて出してくださいました。私たちを餌食にしようとするすべての悪から救い出すために、イエス様は悪のちからを全部ご自分の身に負って、十字架で命を与えてくださいました。イエス様はわたしのためにいのちをすでにあたえてくださった私たちのためのよい羊飼いです。

このイエス様を信用する人はいこいのほとりにて水の洗礼によって導かれ、緑の牧場にて聖餐という食べ物、飲み物によって成長させてくださいます。私たちはイエス様に導かれて、悪いもののちからを恐れなくて安心できます。自分中心な心から解放されてもっと大きな心で神さまが与えて下さった今日という日にもっと自分を磨いて誰かの役に立って生きていきたい、と思います。自分の予想や考えや願いとは違うようになっていっても神様の支えと導きの約束に心から信頼して歩みます。このように私たちはイエス様のものとされました。私たちはイエス様というよい羊飼いに養って育てていただく羊です。イエス様は私たちのことをよくご存じです。また私たちもイエス様の御声をきいて歩んでいきます。

何か恐れていますか？ 人の目や人の力ですか？ 自分の足りなさですか？ 恐れは外からも来ますし、心の内がわからず来ますね。狼ではなく、狼と闘ってご自分のいのちを与えて打ち勝ってくださった主イエス様の力を恐れましょう。

私たちは迷いやすく、目先のことしか考えられない、無防備で弱い羊です。自分の夢がかなうことだけにしがみついていますか。人から認められることでしょうか。自分でかえられない自分の性分のようなものがあなたにとっての神様のようにあなたを縛っていませんか。イエス様を信じて、神様のみこころがなるという心棒をかたくしっかりもちます。そして、そうなら何があっても大丈夫なので、実際には柔らかいあたまで工夫をしながら、よろこびをもって人の役に立つことを求めて自分を鍛えていきます。あなたが考えている幸せな人生に信頼していますか。すべてを統べ治めておられてあなたを愛しておられる神様の御手に信頼をおき、安心して生き生きと生きていきましょう。

イエス様はこの囲いに入っていないほかの羊も導かなければならぬ、と言われました。まだ私たちと共に歩んでいない方々をもイエス様が導いてくださって、そして私たちはひとつの群れになる、とおっしゃっています。おおきな希望ですね。私たちは、多くのまだまことのよい羊飼であるイエス様のことをご存じでない方々の中で暮らしています。けれどもイエス様は私たちだけではなく、その多くの方々のことも大切に愛しておられます。あなたの家族、お友達、仕事仲間、先生やお世話になっている人々が神様に導かれて、イエス様のものとなっていくのです。同じイエス様の御声をきいてひとつの群れとして歩む日がくるのです。楽しみですね。そのためにもよい羊飼であるイエス様の羊として、神様をおそれ、愛し、信頼して今週も歩みましょう。

イエス様は悪いものの力をすべて負って十字架の上でいのちを与えてくださいました。そのイエス様を神様は私たちの羊飼いとよみがえらせてくださいました。私たちのために死んでよみがえってくださったイエス様が、今も生きて私たちを導き養ってくださいます。

イエス様のことばです。「わたしは良い羊飼である。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」
ヨハネ 10:11

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをまもってくださいます アーメン

牧師：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

会衆：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

讚美歌 354 番 「飼い主、わが主よ」 1, 3, 4 節

1. 牧主(かいぬし)わが主よ、まよう我らを 若草の野べに 導きたまえ
われらを守りて 養いたまえ、我らは主のもの、主に贖わる
3. 赦しのみちかい、救いのめぐみ、きよむる力は 皆主にぞある
我らをあがない 生命をたまう、我らは主のもの、主に在りて生く

4. 御慈愛(みいつくしみ)をば 我らに満たし、今よりみむねを なさしめ給え
我らをあわれむ み恵みふかし、我らは主のもの、主をのみ愛す **アーメン**

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みに
あわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり
アーメン

頌栄の讚美歌 541 番

父、御子、みたまの大御神(おおみかみ)に、ときわにたえせず み栄えあれ、み栄えあれ
アーメン

祝福のことば

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき御交
わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週
間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。 **アーメン**

アーメン三唱、後奏